

## 小2国語 出題のねらいと対策

### 1 かん字の読みとり 79.3%

**ねらい**：漢字の読み方についての知識を問う。

**分析と対策**：一年生の復習です。(3)は「空」「白」とともに音読みになります。

### 2 かん字の書きとり 86.0%

**ねらい**：漢字の書き方についての知識を問う。

**分析と対策**：一年生の復習です。(3)「入」は「人」と形がにています。形のちがいに注意するように指導してください。また、「学」の上の三つの点の向きも確認してください。

### 3 ことばのきまり 91.0%

**ねらい**：助詞についての知識を問う。

**分析と対策**：「が・を・の・へ」など、文脈に合う適切な助詞を補う問題です。「なにが」「なにを」「なにの」「どこへ」などのことばの役割を理解させるとともに、「へ」「を」は、「え」「お」と発音は同じで表記が異なることに気づかせてください。また、助詞を間違えると、文の意味が変わったり、文が成立しなくなったりすることがあります。助詞の使い方には注意を払うよう指導してください。

### 4 文をつくる 95.5%

**ねらい**：正しい文のつくりについて問う。

**分析と対策**：てにをはの続き方や、文の内容を読みとった上で意味が通るような適切なことばを当てはめることができるかを問う問題です。文の流れに沿って適切なことばを入れることができているかを確認してください。

### 5 文しょうを読む 78.7%

**ねらい**：物語の場面や、登場人物の人物像、心情の読解や、文章の細部の内容を読み取る力を問う。

**分析と対策**：日曜日の朝。こぶたのふうのお父さんが病気になって、ふうといっしょに魚つりにいく約束が守れなくなったときの様子がえがかれた文章です。お父さんと一緒に魚をつるのを楽しみにしていたのに、それがだめになったとわかってがっかりするふうや、お父さん・お母さんとのやり取り、そのあとにふうが気持ちを立て直して「いっぺんにうれしくな」ったのはどんなことがあったからなのかを、本文に沿って読み取ります。(1)(2)は場面の具体的な内容の把握を確認する問題です。(3)は文脈から読み取れる場面の理解、(4)はことばの意味を問う問題です。(5)(6)は、ふうの心情を文脈から読み取る問題です。二人で一緒に魚つりに行くはずでしたが、一転してふうがお父さんのために行く魚つりになり、張り切っている様子を読み取らせてください。(5)の記述問題は、解答の前後が指定されたことばにうまくつながる書き方になるように指導してください。

全体の平均点は85.7点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。